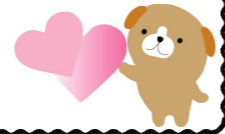


家庭クラブ通信

2月号



発行／愛媛県立川之江高等学校家庭クラブ

今回の家庭クラブ通信は、川高創立 110 周年にちなんで家庭クラブの歴史（その 1）と外部講師による講習会を紹介します。

① 家庭クラブの歴史～歴史は古く、グローバル！～

家庭クラブは、1948（S23）年アメリカより「ホームプロジェクト」の考え方や進め方を日本でも取り入れるところから始まりました。今でもアメリカの家庭クラブ（FCCLA）とは繋がりがあり、スカラシップ留学制度で毎年 2 名のクラブ員が留学し、ホームステイやアメリカのクラブ員との交流活動などを行っています。



↑みかんの花をイメージした愛媛県連盟章
3本線で東・中・南予の集いを示します

家庭クラブは全国組織です。全国連盟（FHJ）は 1953（S28）年に結成され、今年 66 周年を迎えます。また、愛媛県連盟（FHE）は、その 1 年前の 1952（S27）年に結成されました。県連盟には、全ての県立高校が所属していますので、おそらく川之江高校家庭クラブの創立も県連盟と同じだと思われます。

被服準備室に残る家庭クラブの資料の中で最も古いものは、1963（S38）年の県連盟の冊子「志らはに」11号です。これには、活動報告だけでなく、詩や俳句などの文芸コーナーもありました。また、川高の名前が出てくる最も古い資料は、1967（S42）年発行の「志らはに」15号で、川高家庭クラブが編集を行っています。編集後記には、「号を重ねる毎にクラブ員相互の友情のよりよき交流をはかり豊かな暖かい人生を築こうではありませんか。」と結ばれ、この精神は、現在の交流活動や研修活動、「志らはに」の発行などの家庭クラブ活動に引き継がれています。「志らはに」は現在も年 1 回発行され、今年 3 月に 67 号が届く予定です。これには、本校副会長大西優衣さんの「第 65 回愛媛県高等学校家庭クラブ研究発表大会に参加して」の文章が掲載されます。



「志らはに」11号



「志らはに」66号

来月号で、川高創立 100 周年以降の家庭クラブ活動を紹介したいと思いますので、来月号につづく…

② 外部講師による講習会～コラージュで学ぶデザイン画～

1月21日、松山ビジネスカレッジより神田瑞穂先生、田村順秋先生をお招きし、「ファッション造形基礎」受講生を対象に出張授業をしていただきました。ファッションに関する職業について学んだ後、コラージュで学ぶデザイン画について教えていただきました。雑誌や広告の切り抜きを使って、スタイル画に自由に貼り付けてデザイン画を作りました。自由な発想で物作りをする楽しさを体験することができました。



③ 外部講師による講習会～救命講習～

1月28日、四国中央市消防署の救急救命士をお招きし、「子どもの発達と保育」受講生を対象に四国中央市まちづくり出前講座「普通救命講習Ⅲ」を実施しました。主に子どもを対象にする心肺蘇生法を学びました。事前に WEB 講習で学習したことを体験的に学ぶことでより理解が深まりました。



↑新生児・幼児の人形で心肺蘇生法と AEDの使い方を学びました。

④ 外部講師による講習会～テーブルマナー～

1月23日、2月14日、愛媛コミュニケーションブライダル専門学校より玉井道雄先生をお招きし、「フードデザイン」受講生を対象に出張講義をしていただきました。マナーに関して分かりやすく教えていただき、日本茶の淹れ方、いただき方を実習しながら美味しく、楽しく学ぶことができました。



- 【204 生徒のメモより】 -----
- ・第一印象は 3 秒で決まる
 - ・五感のうち視覚からの印象が 85% を占める、身だしなみは大切！
 - ・人の気質は変えられない、マナーをまとう